Dimplex®

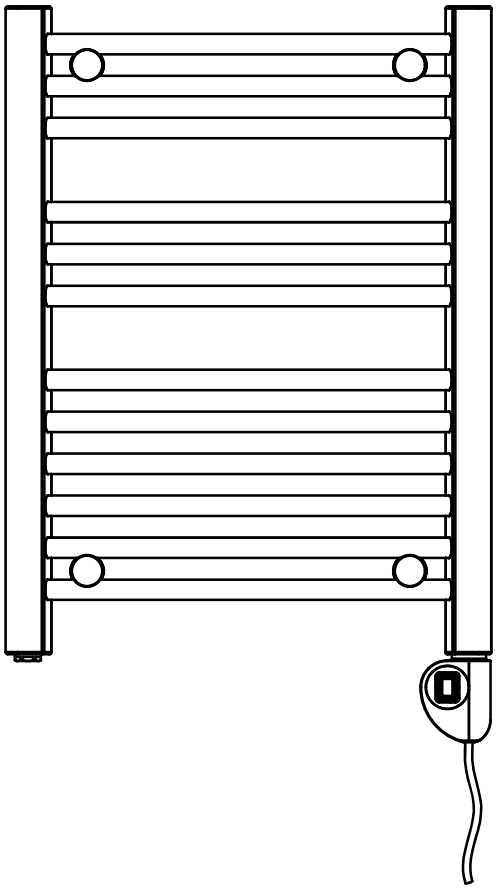
電気タオルウォーマー

タオルラダー

施工・取扱説明書

品番　**TL120CSJ**

保証書付き



■ この度は、タオルラダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ この取扱説明書には保証書がついておりますので、お読みになった後は、大切に保管してください

もくじ

安全上のご注意 1
各部名称 3
ご使用方法 3
本体の取り付け 4
　取り付け及びお引渡しに関するお願い 4
　寸法図 4
　設置場所 5
　壁固定用付属品 6
　取り付け方法（下地補強有り） 7
　取り付け方法（下地補強無し） 9
配線工事に関して 11
お手入れ 12
故障かな？と思ったら 12
仕様一覧 12
保証とアフターサービス 13
保証書 14
お客様相談窓口のご案内 15

MA120010C　13/07/17

安全上のご注意　必ずお守りください

表示内容を無視したときに生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。

⚠ 警告：取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意：取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。

⃠ 禁止図記号　製品の取扱において、その行為を禁止する図記号。
❗ 指示図記号　製品の取扱において、指示に基づく行為を強制する図記号。

※『注意』の欄記載内容においても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

⚠ 警告

⃠ **熱に弱い物を本体に接触して置かないこと。**
変色・変形・火災のおそれがあります。

⃠ **操作部に直接水をかけないこと。**
絶縁劣化による漏電・感電・火災のおそれがあります。

⃠ **ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないこと。**
感電のおそれがあります。

⃠ **修理技術者以外の人は分解や修理をしないこと。**
感電・火災・ケガのおそれがあります。
修理はお買い上げの販売店、または当社にご相談ください。

⃠ **いかなる部分にも改造を行わないこと。**
感電・火災・ケガの恐れがあります。

⃠ **電源コード・電源プラグを破損するような行為をしないこと。**
傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、踏みつける、挟み込む、ステープルで固定する、などを行うと、感電・火災のおそれがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たず、電源プラグを持って抜いてください。
電源コードや電源プラグの修理は販売店、または当社にご相談ください。

⃠ **スプレー等の缶を本体の近くに置かないこと。**
爆発・火災のおそれがあります。

⃠ **浴室内には設置しないこと。**
感電・火災・ケガのおそれがあります。

⃠ **運転中は本体と電源コードを接触させないこと。**
感電・火災のおそれがあります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

コンセントを使用せず、直接結線を行う場合には、電気工事士の有資格者が行うこと。
漏電・感電・火災のおそれがあります。
本体の取り付けは、１１ページの「配線工事に関して」に従い正しく行ってください。

コンセントを使用せず、直接結線を行う場合には、回路に配線用遮断器を設けること。
漏電・感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

布・タオル類の乾燥・保温以外の目的で使用しないこと。
感電・火災・やけどのおそれがあります。

アイロンがけのできない布製品など、熱に弱いものは掛けないでください。

運転中はレール部分に触らないこと。
運転中はレール部分が熱くなり低温やけどのおそれがあります。

本体表面の掃除は、ベンジン・シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しないこと。
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

本体に乗ったり、傾けたり、ぶらさがったりしないこと。
故障・落下のおそれがあります。
許容加重は 3kg までです。

乳幼児やご高齢の方、お体の不自由な方は、付き添いなしのご使用は避けること。
運転中はレール部分が熱くなり低温やけどのおそれがあります。

本体の取り付けは、施工業者が行うこと。
機器の脱落や、感電・ケガのおそれがあります。
本体の取り付けは、４～１０ページの「本体の取り付け」に従い正しく行ってください。

本体の取り付けは、必ず付属品を用いて行うこと。
機器の脱落や、感電・ケガのおそれがあります。
本体の取り付けは、４～１０ページの「本体の取り付け」に従い正しく行ってください。

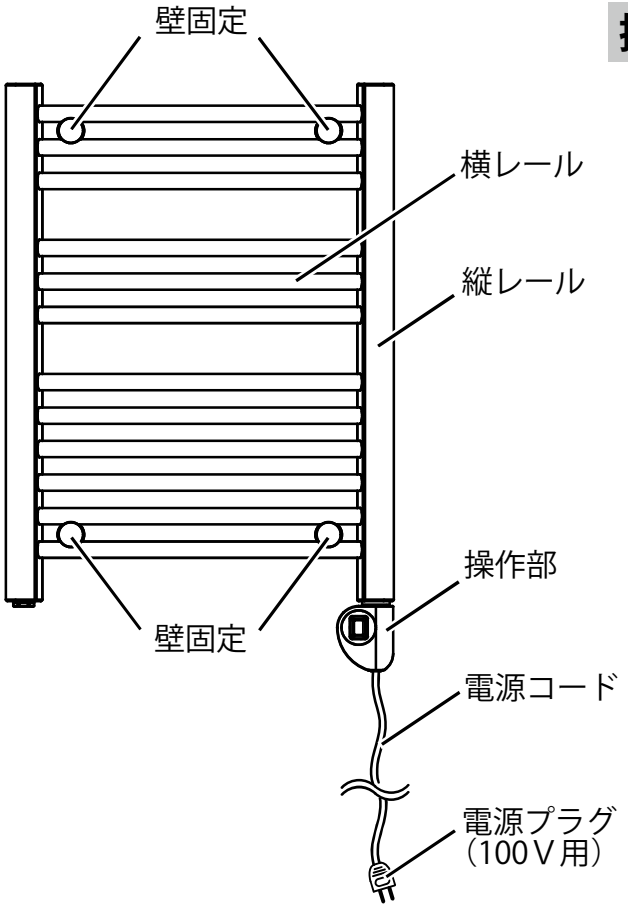
異常が感じられるときは、スイッチを切りにし、電源プラグをコンセントから抜き、
直接結線の場合には配線用遮断器を切にして、販売店又は当社に連絡すること。
故障・火災のおそれがあります。

本体表面の掃除は、必ず運転を停止し、本体が冷めてから行うこと。
運転中と停止直後はレール部分が熱く、低温やけどのおそれがあります。

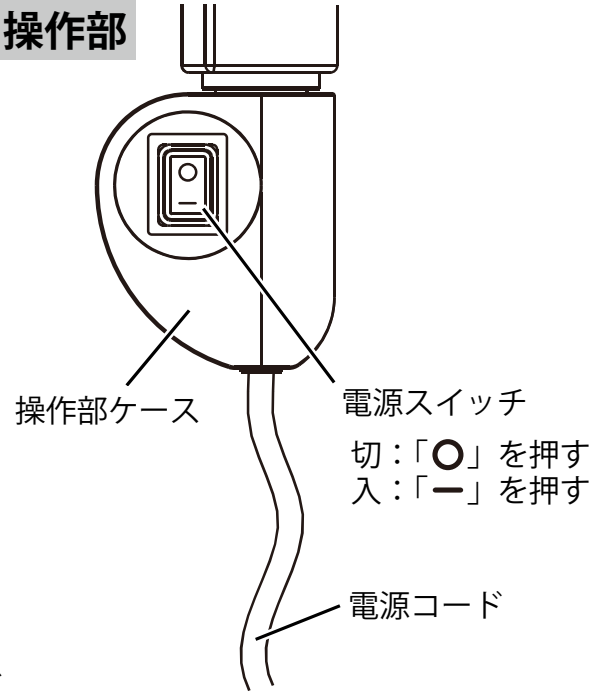
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、直接結線の場合には
配線用遮断器を切にすること。
誤って電源スイッチが入ると、本体が熱くなり低温やけどのおそれがあります。

各部名称

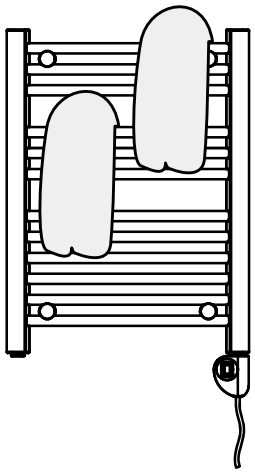
本体



操作部



ご使用方法



❶ 電源スイッチの入「ー」を押し、電源を入れます。
電源スイッチが入っている間スイッチのランプが点灯し、
３０分程でレール全体が暖まります。

❷ 横レールにタオルや衣類を掛けてご使用ください。
乾燥するまでの時間を短縮し、乾燥後は暖かな状態を保ちます。

❸ ご使用が終わりましたら、電源スイッチの切「○」を押し、電源をお切りください。

注意　許容加重は 3kg までです。合計 3kg 以上のものはかけないでください。

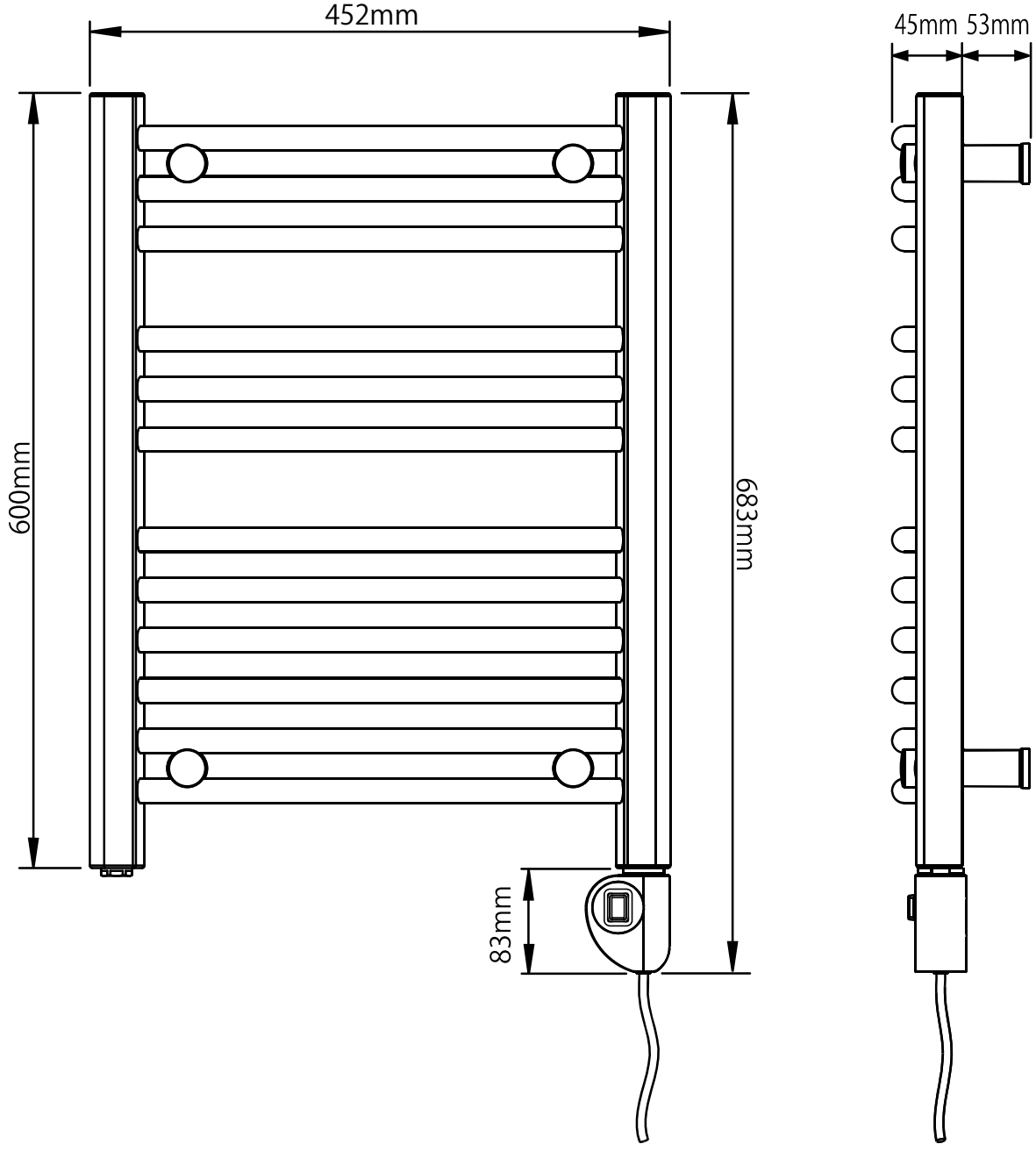
注意 **アイロンがけのできない布製品など、熱に弱いものはかけないでください。**

本体の取り付け

取り付け及びお引渡しに関するお願い

・本書の記載内容と異なる設置が原因で生じた故障及び損傷は、保証期間内であっても保証の対象となりませんので、正確な施工を実施してください。
・施工者は、取り付け完了後、本書の内容を再確認し、“試運転”と“お客様への取扱説明”を行なってください。（お客様に安全・快適にご使用いただくために必要です）
・取り付け完了後、この取扱説明書（保証書付）の保証書に必要事項が記入されていることを確認し、必ずお客様に渡してください。

寸法図

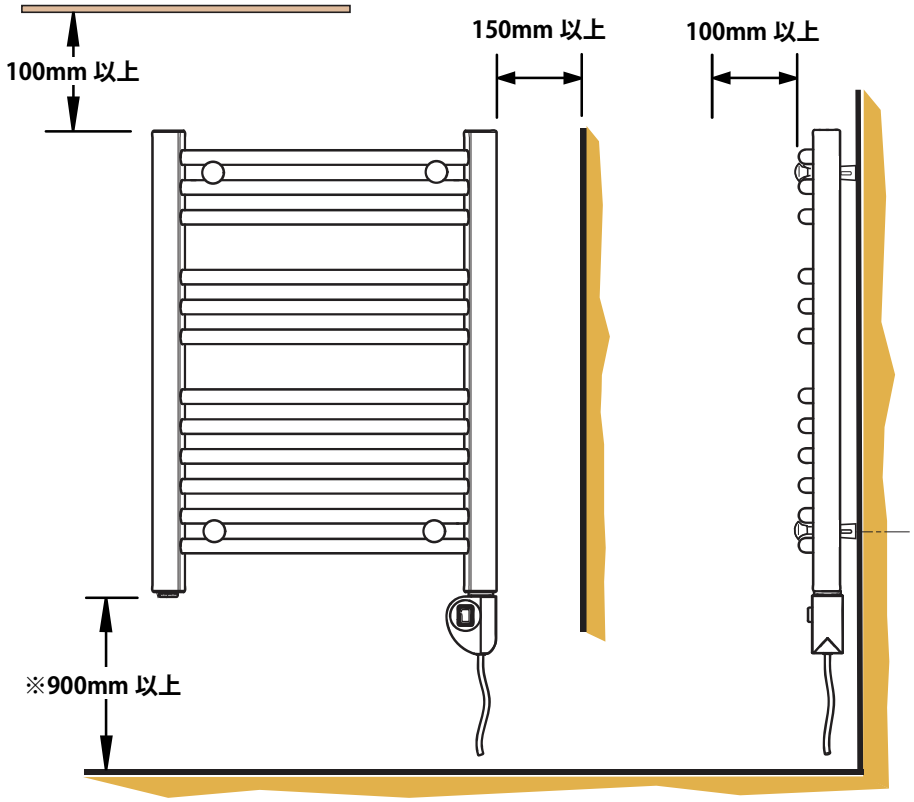


本体の取り付け

設置場所

本体の設置には下記の離隔距離を取ってください。

- 離隔距離は正常に動作するために必要な最低限の寸法であり、周囲の壁紙などが変色・変形しないことを保障するものではありません。
- 自然対流により発生する上昇気流の影響で、壁面にほこり等が付着し、変色する場合があります。壁紙等は熱で変色しにくいものをご使用ください。
- 背面の壁材の仕上げは、準不燃クロス、石膏ボードや珪酸カルシウム等の不燃材を使用してください。



※小さなお子様が触らないよう床上 900mm 以上の位置に設置されることをおすすめします。

⚠ 警告

次の場所には取付けないでください。

- 可燃性ガスの発生する場所、または溜まる場所。
- 付近に燃えやすいものがある場所。
- 風呂場やシャワーの水がかかりやすい場所。
- 付近に、塗料・シンナー等の引火性の高いものがある場所。
- 水平・垂直でなく、不安定な場所。
- 階段、避難口等の付近で、避難の支障になる場所。

⚠ 注意

- ビスは必ず所定の箇所に取り付けること。
- 壁下地材は、厚み 12 ㎜以上の合板又は同等以上の強度を持つものであること。
  （※壁下地材のない場合は、付属のボードアンカーセットを用いて取り付けてください。）
- レール部は熱くなりますので、運転中や停止直後は操作部以外触れないこと。
  （低温やけどのおそれがあります）

本体の取り付け

壁固定用付属品

設置に関して

・ 以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

A 壁固定セット

B ボードアンカーセット

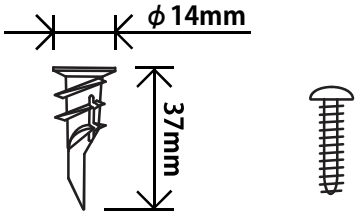
A 壁固定セット（箱入り）

a) 壁スペーサー 4個
b) インサート固定ビス (ST2.9x9.5) 4本
c) ワッシャー 4個
d) 壁固定ビス (M5.5x50) 4本
e) インサート 4個
f) リアグリップ 4個
g) フロントグリップ 4個
h) グリップ固定ボルト (M6x35) 4本
i) キャップ 4個

B ボードアンカーセット（小袋）

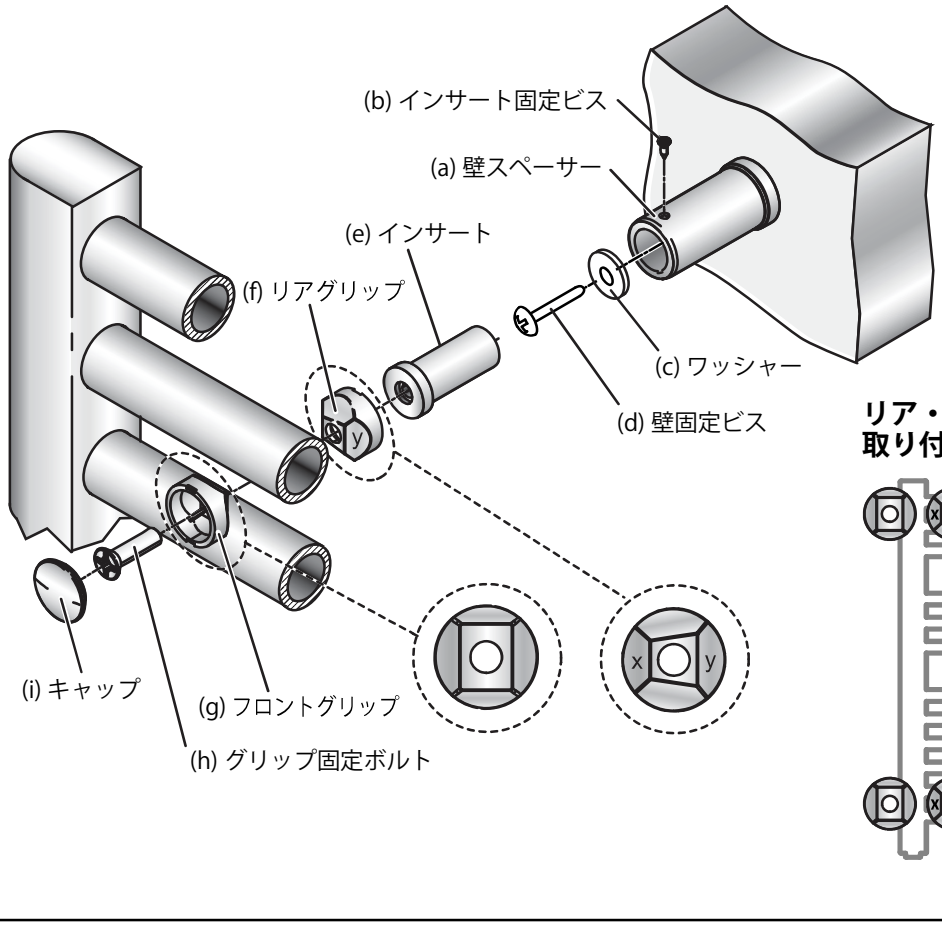
j) ボードアンカー 4本
k) アンカービス (M4x30) 4本

ボードアンカーセット（小袋）

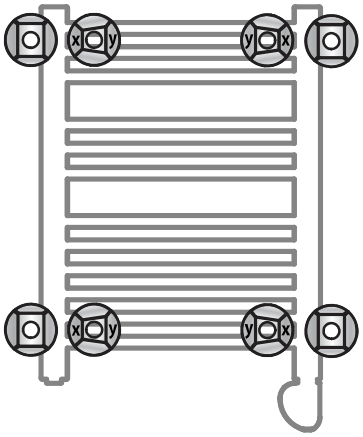


(j) ボードアンカー　(k) アンカービス

壁固定セット（箱入り）



リア・フロントグリップの取り付け方向

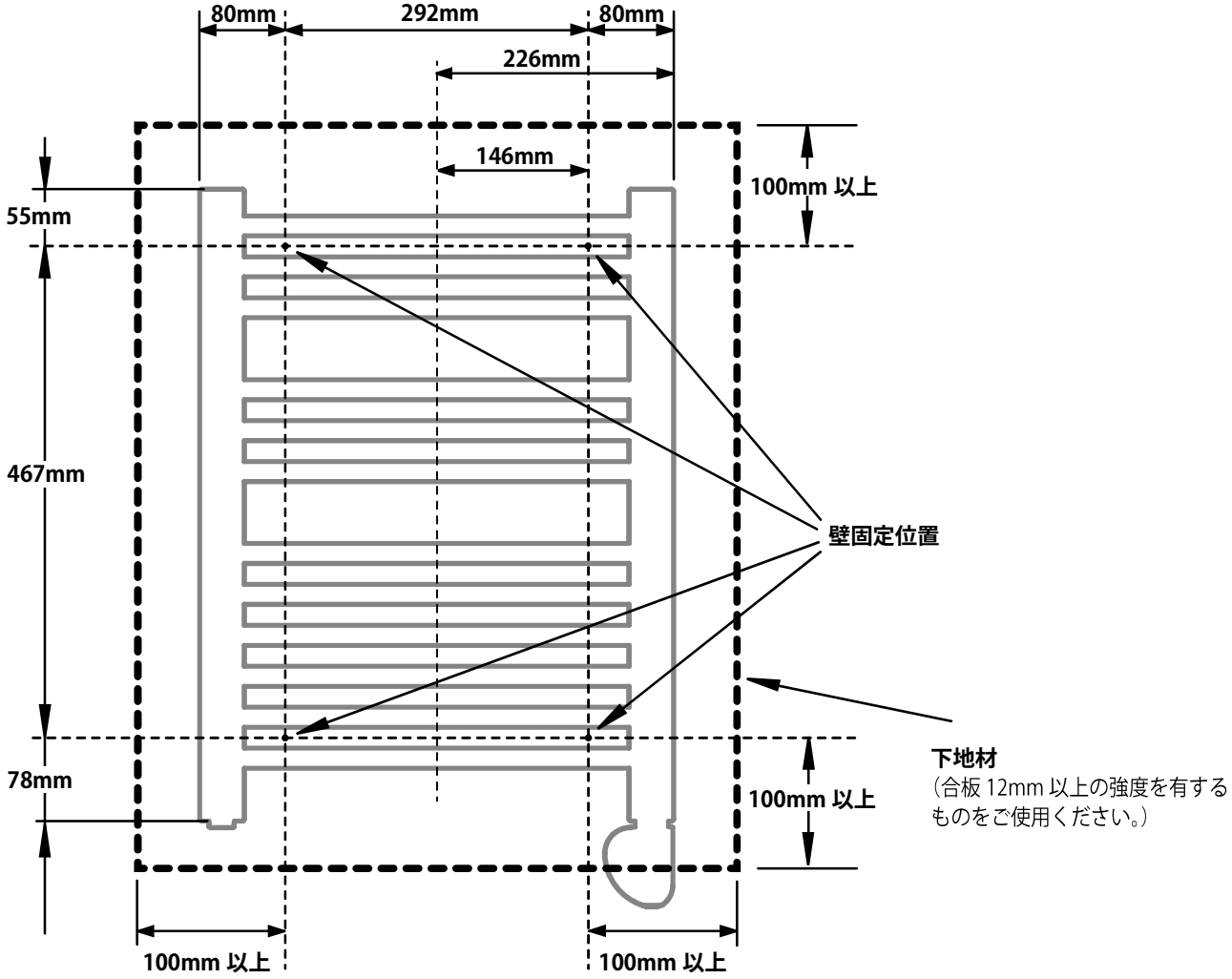


本体の取り付け

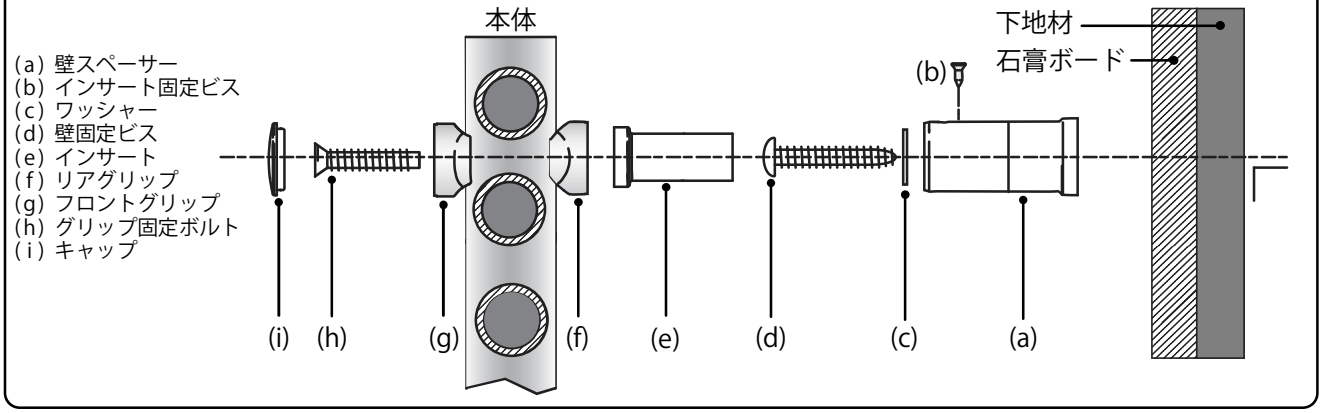
取り付け方法　下地補強が可能な場合

壁は、下地補強を入れてください。壁下地材は、厚み 12 ㎜以上の合板又は同等以上の強度を持つものとしてください。

壁固定寸法（下地補強が可能な場合）



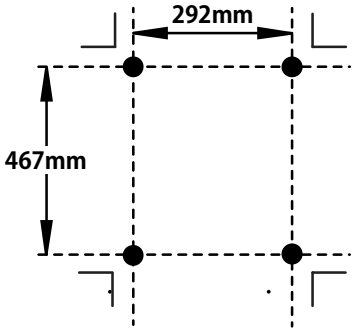
使用する壁固定用付属品



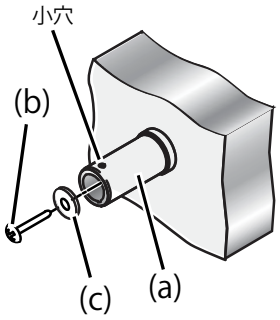
本体の取り付け

取り付け手順（下地補強が可能な場合）

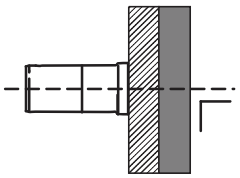
❶ 取り付けたい壁の位置に、左右の距離 292mm、高低差 467mm の 4 点を墨出しする。
（水平・垂直が取れていることを確認する。）



❷ 墨出しした 4 点に、(c) ワッシャーと (d) 壁固定ビスを用いて (a) 壁スペーサーを固定する。

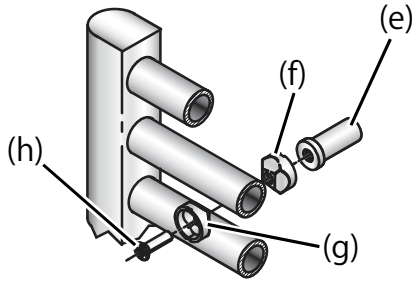


注意
壁スペーサーは必ず壁に対して垂直に取付けてください。
壁固定強度不足になる場合があります。

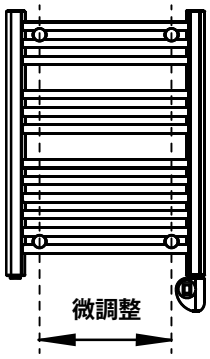


❺でインサート固定ビスを回しやすくするため、壁スペーサーの小穴を外側へ向けることをおすすめします。

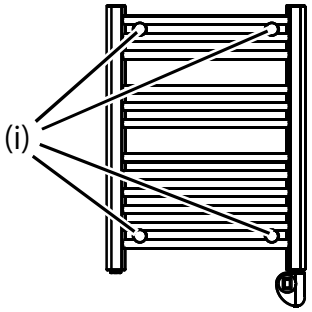
❸ (g) フロントグリップ、(f) リアグリップ、(e) インサートを、(h) グリップ固定ボルトを用いて本体に仮固定する。
（グリップの取り付け方向は 6 ページ参照）



❹ 固定した壁スペーサーに入るようインサートの位置を微調整し、グリップ固定ボルトを締め、固定する。



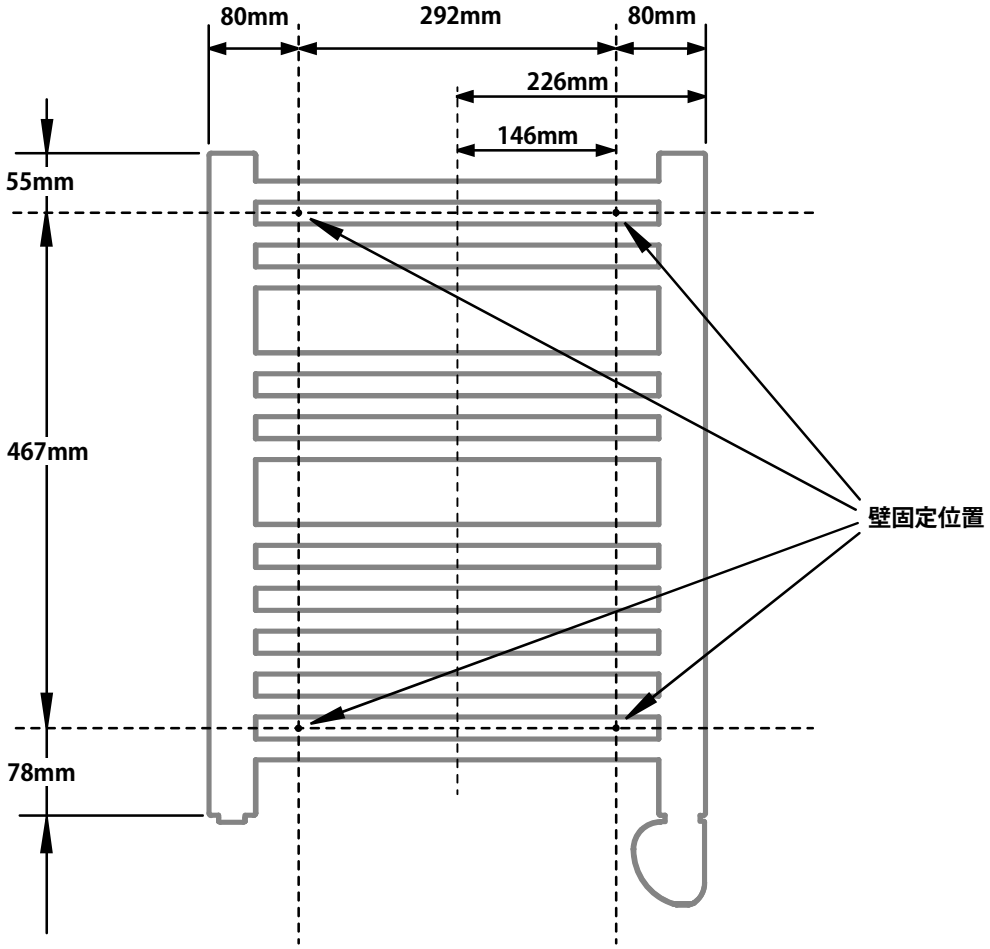
❺ 壁スペーサーの奥までインサートを挿入し、インサート固定ビスを用いて固定する。
最後に (i) キャップをつける。



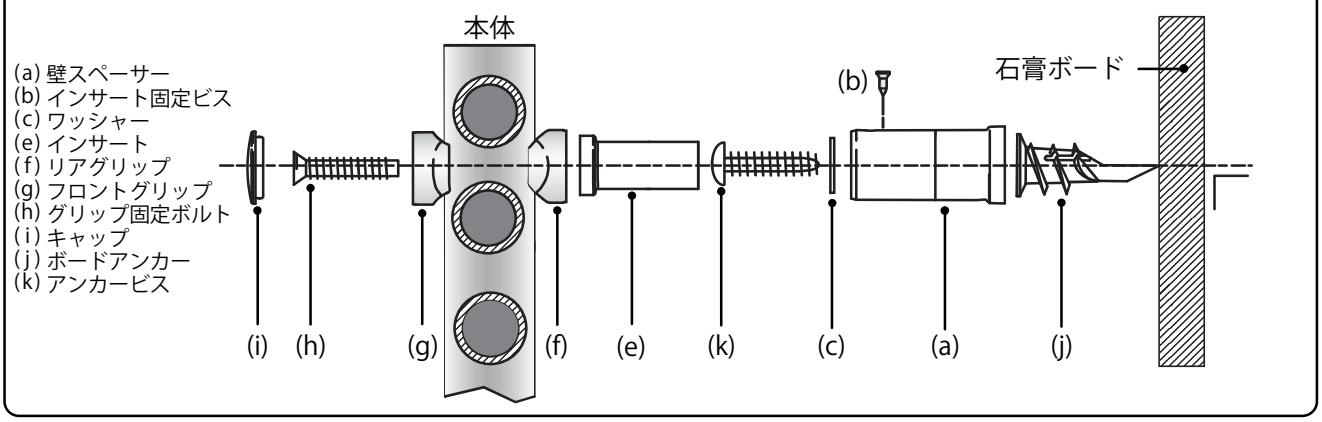
本体の取り付け

取り付け方法　下地補強ができない場合

壁固定寸法（下地補強ができない場合）



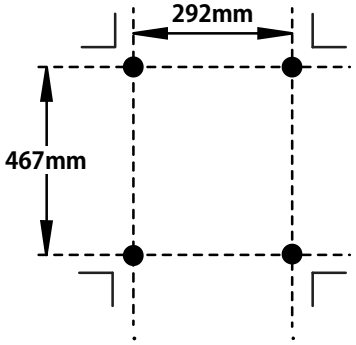
使用する壁固定用付属品



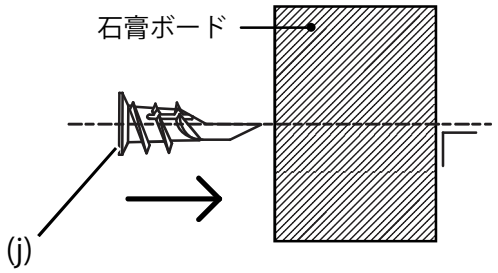
本体の取り付け

取り付け手順（下地補強ができない場合）

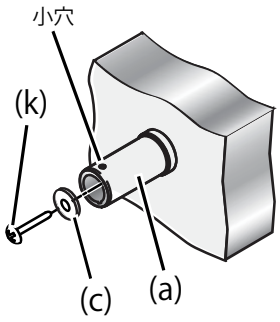
❶ 取り付けたい壁の位置に、左右の距離 292mm、高低差 467mm の 4 点を墨出しする。
（水平・垂直が取れていることを確認する。）



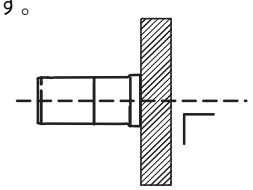
❷ 墨出しした 4 点に、(j) ボードアンカーをねじ込む。



❸ ボードアンカーに、(c) ワッシャーと (k) アンカービスを用いて (a) 壁スペーサーを固定する。

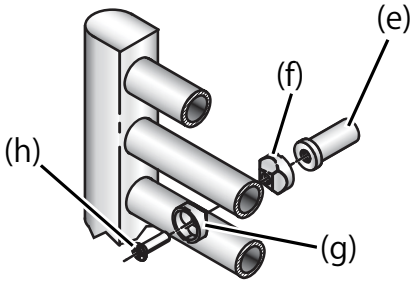


注意
壁スペーサーは必ず壁に対して垂直に取付けてください。
壁固定強度不足になる場合があります。

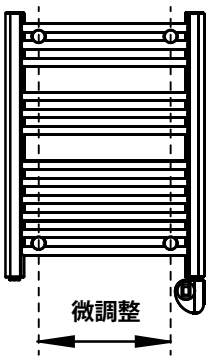


❻でインサート固定ビスを回しやすくするため、壁スペーサーの小穴を外側へ向けることをおすすめします。

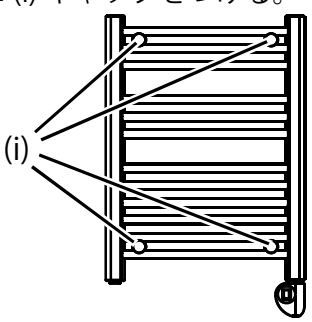
❹ (g) フロントグリップ、(f) リアグリップ、(e) インサートを、(h) グリップ固定ボルトを用いて本体に仮固定する。
（グリップの取り付け方向は 6 ページ参照）



❺ 固定した壁スペーサーに入るようインサートの位置を微調整し、グリップ固定ボルトを締め、固定する。



❻ 壁スペーサーの奥までインサートを挿入し、インサート固定ビスを用いて固定する。
最後に (i) キャップをつける。



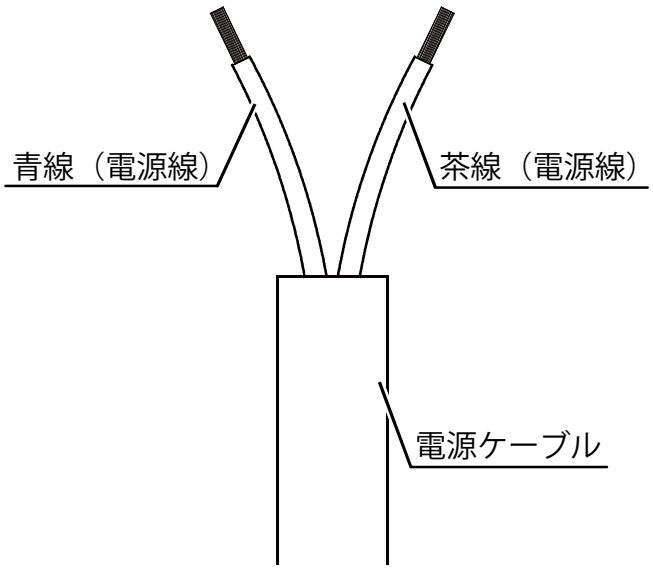
配線工事に関して

本製品は、コンセントプラグを有していますが、必要に応じて直接結線による接続が可能です。
直接結線を行う場合には、下記の項目をお守りください。

- 工事は電気工事士の有資格者が行ってください。
- ケーブルは、本体に接続されている電源ケーブルをご使用ください。
- 圧着端子（リングスリーブ等）を使用し、適切な工具で確実に接続してください。
- 運転中に本体と電源ケーブルが接触するおそれのないよう、電源ケーブルは適切な長さにカットした上で接続してください。
- 接続部分には絶縁処理を施してください。
- 電源には AC100V を使用してください。
- 回路には専用の配線用遮断器を設けてください。
  また、屋内配線の最小電線太さ及び配線用遮断器の定格電流は下表を参照してください。
  （全極において 3mm 以上の接点距離を確保すること。）
- 配線工事後、長期間ご使用にならないときは、配線用遮断器を切にしてください。
- 本体電源ケーブルと屋内配線をよじる等して接続しないこと。
- ケーブルの本体背面への接触や、無理な曲げ、束ねる等の行為はしないでください。

屋内配線の最小電線太さ（銅線）
直径 1.6mm (2mm^2)

配線用遮断器の定格電流
15 A



お手入れ

本体が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭取ってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭取ってください。

お手入れの際は必ず運転を停止し、本体が冷めてから行ってください。
運転中と停止直後はレール部分が熱く、低温やけどのおそれがあります。

故障かな？と思ったら

症状	調べる所	対処方法
本体が暖まらない。 電源スイッチのランプが付かない。	100V 電源プラグが抜けていませんか。	100V 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチが「O」（切）になっていませんか。	電源スイッチを「ー」（入）にしてください。
	配線用遮断器が切になっていませんか。	配線用遮断器を入にしてください。

上記に該当せず、使用中に異常が感じられる場合は、直ちに電源ボタンを「O」（切）にした後電源プラグをコンセントから抜き、直接結線の場合には配線用遮断器を切にして、お買上げの販売店又は当社にご相談ください。

仕様一覧

品番	TL120CSJ
定格電圧	100V　50/60Hz
定格消費電力	120W
本体質量	6.6kg
外形寸法	幅 452mm　×　縦 683mm　×　奥行 98mm
電源コード長	1.2m　<PS>E　（2×0.75mm^2）
制御方法	電源スイッチ　OFF ー ON (0 W ー 120 W)
安全装置	（ヒーター）サーモスタット 80℃／温度ヒューズ 117℃
許容荷重	3kg 以下
放熱の方式	湿式（熱媒体：不凍液（15%グリコール水溶液））

保証とアフターサービス

保証書（添付）

この取扱説明書には保証書が添付されていますので、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から本体１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後６年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源スイッチを「○」（切）にしてから電源プラグをコンセントから抜き、直接結線の場合には配線用遮断器を切にして、お買い上げの販売店又は当社にご相談ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、当社が修理させていただきます。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品　　名	タオルラダー
品　　番	TL120CSJ
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	（できるだけ具体的に）
お客様	お名前　電話番号 ご住所
修理希望日	年　月　日

お客様ご相談窓口　**< 受付時間：平日 9 時～ 17 時 >**

フリーダイヤル **TEL 0120-583-570**　**FAX 011-783-7747**

〒007-0846　北海道札幌市東区北 46 条東 17 丁目 2 番 23 号

株式会社ディンプレックス・ジャパン

ホームページ http://www.dimplex.jp/　**メールアドレス** info@dimplex.jp/

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店または下記窓口へお申し付けください。

輸入元：株式会社 ディンプレックス•ジャパン

本社・技術相談窓口
〒007-0846 北海道札幌市東区北 46 条東 17 丁目 2 番 23 号　TEL：011-783-7989　FAX：011-783-7747

北海道営業所
〒007-0846 北海道札幌市東区北 46 条東 17 丁目 2 番 23 号　TEL：011-783-7106　FAX：011-783-7108

東北営業所
〒989-2422 宮城県岩沼市空港南 2 丁目 2 番 2 号　TEL：0223-25-5804　FAX：0223-25-5805

北陸営業所
〒939-8094 富山県富山市大泉本町 1 丁目 4 番 14 号　パレット大泉 1 階　TEL：076-420-7617　FAX：076-420-7618

首都圏関東営業所
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3 丁目 8 番 3 号　東硝ビル 8 階　TEL：03-6272-3792　FAX：03-5695-0271

西日本営業所
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町 1 番 31 号 由武ビル 8 階　TEL：06-6193-5365　FAX：06-6193-5366

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

株式会社ディンプレックス・ジャパンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

① 当社は、お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。
② 当社はお客様の個人情報を、適切に管理します。
③ お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

MA120010C　13/07/17